

令和8年度 シラバス 【家庭】

科目名	単位数	学年	使用教科書	使用副教材
家庭基礎	2	2	6 教団 家庭基礎 006-903 Survive!! 高等学校 家庭基礎 【改訂版】	6教団家庭基礎006-903 Survive!! 高等学校家庭基礎【改訂版】 ワークノート

◇科目の概要と目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 1 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 2 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- 3 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

◇科目の観点別評価の目標

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

月	4月	5月	6月	7月	
科目名	単元1	単元2	単元3	単元4	
家庭基礎	①さあ、「家庭基礎」の学習を始めよう！ 1 オトナって何だろう？【成年年齢の意味】 33 友達に愛を告白された！【青年期を生きる】 34 自分にとって家族とは！【現代の家族】 35 どうする！？家事！【家庭生活の成り立ち】 25 ホントに大きくなるのかな…？【子どもの発達】	26 ウワー————！！【子どもの遊び】 27 子どもの名前は何にする？【子どもの生活・大人の役割】 28 隣の子どもが泣いている！？【子育て環境、子育て支援】 36 どうなる！？相続！？【家族と法律】 【味噌づくり】	8 毎日がファッションショー！？【人と衣服】 9 服を買いに行く服がない！【衣服計画・衣服の表示】 【被服実技】	期末考査	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動とは 【保育園訪問】
知識・技能	・自立した生活を営むために必要な情報（生活資源）について理解しているかを評価する。 ・家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解しているかを評価する。	・乳幼児期の心身の発達と生活について理解して、親の役割と保育についても理解して、子どもを取り巻く社会環境と子育て支援について等を理解できているかを評価する。	・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について、被服の計画が適切にできているかを評価する。	単元1～3内の重要語句に関する問題 約40点分	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の意義や実施方法について理解できているかを評価する。
思考・判断・表現	・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことをグループで話し合い、授業プリントでまとめたものを評価する。	・子どもを生み育てることの意義について考えると共に、子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について、解決策を構想し、自分の考えを深めているかを評価する。	・被服の機能性や快適性、安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について問題を見いだして課題を設定して、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現しているかを評価する。	単元1～3に関する思考問題、判断問題 約40点分	自分の家庭生活について問題を見出して課題を設定しようとしているかを評価する。
主体的に学習に取り組む態度	・よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭について、生活を工夫し創造し、実践しようとしているか、グループの話し合いに参加し、取り組む姿勢を評価の参考にする。	・乳幼児の育児に関心をもち、子どもとのふれ合いやマタニティ体験の記録をまとめ、気づいたことなどを意見交換する姿勢を評価の参考にする。	・衣生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	課題や提出物への取り組み状況等に関する評価約20点分 考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映	自分の家庭生活の課題について、課題の解決に主体的に取り組もうとしているかを評価する。

月	9月	10月	11月	12月	
科目名	単元4	単元5	単元6	単元7	
家庭基礎	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	10 えっ！？寒いもの！？【衣服の成り立ち、衣服素材の性能と着心地】 11 YOUはどうして知らないの？【衣服の構成】 12 ええっ！洗わないの！？【衣服の手入れ・管理】 13 あれから50年かー！【これからの衣生活】	14 がんばった自分にご褒美だ！【人と食生活】 15 ご飯は炭水化物でしょ！？【食品と栄養素】 16 コレってまだ食べられる！？【食品の選択・保存、安全な取り扱い】 17 茶色くなっちゃった！！【献立作成】 18 タロウ君のカレーは♡【調理の基礎】 19 ミウちゃんに叱られる！？【これからの食生活】 【赤ちゃんふれあい体験】	20 こんな家、出て行く！？【人と住まい】 21 布団か？ベッドか？【ライフスタイルと住まい】 22 ドロボウに入られた！【安全な住まい】 23 一人暮らしははずりだけ？【衛生的な住まい】 24 一緒に暮らせる？【これからの住生活】 【調理実習】	期末考査
知識・技能	・ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動の主旨と意義を十分に理解し、課題を見つけたし、題目を設定して取り組む実践を通して、家庭生活を充実・向上するための基礎的・基本的な考え方を身につけて理解しているかを評価する。	被服の素材の種類や特徴、衣服の構成、衣服の手入れや管理について理解しているかを評価する。	・青年期における毎日の食事の重要性、食事を共にすることの意義について理解しているかを評価する。 ・栄養素の種類と機能について、食品の調理上の性質を理解しているとともに、目的に応じた調理ができるかを評価する。	・ライフステージに応じた住生活の特徴について理解しているかを評価する。 ・適切な住居の計画・管理について理解しているとともに、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているかを評価する。	単元4～7内の重要語句に関する問題 約40点分
思考・判断・表現	・自分の家庭生活にはどのような課題があるか日常生活の中で見つけたし、また、学校家庭クラブの一員として、地域や社会の中からそれを解決するために、知識・技能を活用しているかを評価する。	衣服素材の主な性能・着心地についての知識を生かし快適な着装について実践を評価したり改善したりしている。 ・衣生活についての問題を見出し、課題解決に向けて考え工夫しているかを評価する。	・食の安全や食品の調理上の性質を考慮した献立作成や調理計画について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現しているかを評価する。	・住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりや、防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境について問題を見いだして課題を設定して、解決策を構想、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現しているかを評価する。	単元4～7に関する思考問題、判断問題 約40点分
主体的に学習に取り組む態度	・ホームプロジェクト、学校家庭クラブ活動に関心をもち、主体的・実践的に考えようとしていることを評価の参考にする。	衣服素材の主な性能・着心地についての知識を生かして、自分の着装について充実向上を図るために実践しようとしている。 ・これからの衣生活について、課題解決に主体的に取り組もうとしているかを評価の参考にする。	・食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい社会の構築に向けて、食生活と健康について、生活を工夫し創造し、実践しようとしていることを評価の参考にする。	・住生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい社会の構築に向けて、住生活と健康について、生活を工夫し創造し、実践しようとしていることを評価の参考にする。	課題や提出物への取り組み状況等に関する評価約20点分 考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映

月	12月	1月	2月	3月 年間	
科目名	単元8	単元9	単元10		
家庭基礎	32 トイレに行きたいのに！！【ともに生き、支え合う社会】	2 私には光るものがある！？【契約と消費者トラブル】 3 何か入ってる！？【消費者の権利と責任】 4 ガーン…オレの意見は……【消費者の意思決定】 5 ちゃんと払っているけど…【生活費と家計】 6 1億円当たった！？【将来の経済計画】 7 私たちの地球を壊さないで！【これからの消費生活】	29 私が高齢者？！【高齢期を理解する】 30 えっ？聞いてないよ？【高齢者の生活を支える仕組み】 31 いつもと変わらなかったよ？【地域で支える高齢社会】	学年末考査	総合評価
知識・技能	ともに支え合いながら生きる共生社会の重要性について理解しているかを評価する。	・生活における経済と社会とのかかわり、家計管理について、消費者の権利と責任を自覚して行動できるように、消費者保護の仕組みについて理解しているかを評価する。 ・生活と環境とのかかわりについて理解して持続可能な社会へ参画することの意義について理解しているかを評価する。	・高齢者の心身の特徴、高齢者を取り巻く社会環境、高齢者の尊厳について、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解しているかを評価する。	・1年間を通じて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができているかを評価する。 ・各実習毎のレポートや授業プリントへの記述ができているかを評価する。 ・各学期の定期考査における基礎用語の定義を総合的に判断し、評価する。	
思考・判断・表現	・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもってともに支え合って生活することの重要性について、課題の解決に向けて考えようとしているかを評価する。	・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現しているかを評価する。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定しているかを評価する。	・高齢者の自立生活、家族や地域及び社会の果たす役割について問題を見いだして、家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することについて、考えを深めているかを評価する。	・1年間を通じて、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践して評価・改善をし、考察して論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けることができているかを評価する。 ・各実習や実習では、坂で話し合い、積極的に取り組めたかを評価する。 ・各学期の定期考査における各単元の思考・判断問題の定義を総合的に判断し、評価する。	
主体的に学習に取り組む態度	・共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組もうとしているかを評価の参考にする。	・消費行動と意思決定について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい社会の構築に向けて、持続可能なライフスタイルと環境について、生活を工夫し創造し、実践しようとしていることを評価の参考にする。	・よりよい社会の構築に向けて、高齢期の生活と福祉について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組もうとしていることを評価の参考にする。	課題や提出物への取り組み状況等に関する評価約20点分 考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映	